

街
GALILEO
灯

「豆田界限では近々実行される花月川の河川改修に伴う『御幸橋』と『一新橋』の架け替えが大きな関心を呼んでいる。先日開催された日田祇園の際は橋上に豆田4町の山鉾が集合し多くの見物客もいて賑わいを見せた。はっぴ姿の若者が囃子に合わせて踊り出すと橋が揺れるのを感じたが後数年でこの橋も架け替えられる、と少々感慨にふけたものだ。」

国土交通省筑後川河川事務所主催で昨年末架け替えが終わったところ、立派になる、という説明会はあったが多くの豆田地域に関わる住民は、終わった後よりも終わるまでの過程が一番気になる、というの

が本音のところだ。橋は毎日の生活と地域経済に大きな影響があるので当然の心配である。

我が家に残る古文書の中に明治維新時、花月川に架

vol.2 -花月川改修と未来会議-



草野 義輔

(昭和学園高等学校理事長・草野本家当主)

それだけ必死の嘆願だったのだろう。

は住民の願いを受け入れ二本ではないが一本の立派な石の橋を架けたとあり、明治のこの新時に架けられた橋なので『一新橋』と命名された。なお古文書には建設に際し地元有志が今のお金で1億円もの資金を供出したことも記載されている。

けられていた「大橋」と「殿橋」が水害で二つとも流失し住民が難儀をしているので、松方正義日田県知事に架橋の嘆願書を出した記録が残っている。松方県知事

詳細は未確認だが昭和21年頃にこの一新橋も流失し翌年現在の元になる二本の橋が架けられたようだ。今回の橋の架け替えは元気が戻り始めた豆田地域にとってほまきに生命線である。今後は市が『未来会議』と称して具体策を策定するとう。とにかく住民の意見をしっかりと聞く会議であってほしいものだ。